

令和7年度（令和6年度実績）総合評価書　＜施設名　旭ヶ丘児童センター＞

1. 指定管理者名	社会福祉法人　多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	令和3年4月1日　～　令和8年　3月31日（5年間）
3. 業務の範囲	1　児童館の事業の実施に関すること。 2　児童館の維持管理に関すること。 3　目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4　児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5　事業評価に関すること。

4. 採点表												
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)			分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値				開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。		-
		②利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値			105%以上 5点	【令和6年度】来館者13,163名 幼児2,773名 小学生 5,825名 中高生 1,865名 大人 2,700名 【令和5年度】来館者12,131名 幼児 2,205名 小学生 6,445名 中高生 1,292名 大人 2,189名 【令和4年度】来館者数11,971名 幼児 2,228名 小学生 6,157名 中高生 1,414名 大人 2,172名 【令和3年度】来館者数7,666名 幼児 1,636名 小学生 3,139名 中高生 1,347名 大人 1,544名 【令和2年度】来館者数7,417名 幼児 1,386名 小学生 3,099名 中高生 1,444名 大人 1,488 【令和元年度】来館者数17,003名 幼児 3,812名 小学生 6,577名 中高生 1,319名 大人 5,259 (参考)コロナ前の令和元年度との比較 R6:13163÷R1:17003≒77%		10点			
			平均値比(上記2)適用 指定管理4年目のため1年目～3年目の平均利用人数 <u>平均値比124%=(令和6年度来館者数13,163人)÷(令和3・4・5年度来館者数平均値10,589人)</u>									
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	①乳幼児と保護者を対象とした事業(令和6年度内に合計60回開催、1222名参加) [仕様書年間指定回数30回] ②児童を対象とした事業(令和6年度内に合計56回開催、621名参加) [仕様書指定回数年間6回] ③地域・多世代間交流事業(令和6年度内に合計7回開催、972名参加) [仕様書指定回数年間1回] ④中高生事業(令和6年度内に合計21回開催、81名参加) [仕様書指定回数年間3回] ⑤子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進事業 (令和6年度内に合計34回開催、544名参加)[仕様書規定回数14回]			仕様書以上 14点	・令和6年度は、来館者数も増加傾向にあり、活動仕様書の指定回数以上の活動を行うことが出来ている。 ・地域・多世代間交流事業では、児童センターまつりを発表の部、子どもスタッフ主体のミニゲーム、お店屋さん、5館合同の子どもスタッフパネルクイズ等遊びの部の2部構成で実施。子どもスタッフや小・中ボランティアの活躍と地域との連携で大変盛り上がり、昨年以上の参加人数となった。 ・子育て相談事業とネットワークづくりの推進事業では、他連携事業が活発に実施出来たことで、小学生が普段あまり関りを持たない大人との交流ができています。各機関との協力により様々な体験を経験ができ、学びの機会に繋がっている。		14点		
				①乳幼児と保護者を対象とした事業(令和6年度内に合計62回開催、961名参加) ②児童を対象とした事業(令和6年度内に合計42回開催、563名参加) ③地域・多世代間交流事業(令和6年度内に合計69回開催 1001名参加) ④中高生事業(令和6年度内に合計4回開催、23名参加) ⑤子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進事業 (令和6年度内に合計10回開催、70名参加)				・乳幼児親子対象事業は、例年人気の事業に加え、親子簡単クッキング・季節のコンサート等を実施。児童センターならではの雰囲気の中、親子で気兼ねなく参加できると好評で、参加者の増加となった。 ・中高生自主事業は、春祭りにプレバパママルームを同時開催した。中学生が乳幼児親子との交流を楽しみながら、思いやりを持って対応。参加者から高評価を得、中学生の自己肯定感に繋げる事ができた。 ・子育てネットワーク事業の「なないろひろば」の活動は、親子の関わりや、活動後に気軽に育児の不安や悩みを相談できる場となり、子どもが不安なく遊べる環境作りができた。				

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・定期清掃・日常清掃を行い、適正に環境整備を行った。 ・ジアイーノの機械を用いた館内の常時消毒。 ・砂場の消毒を行い衛生を保ち、利用者が安全に遊べるよう配慮した。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			・電気工作物・運動遊具の保守点検は委託により実施。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			③保安・警備			・非常通報装置・消防用設備の保安点検は委託により実施。夜間の館内警備については委託により実施。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			④小規模修繕			①幼児室防火カーテンの取り換え①については10万円以上の見積もりであったため市に修繕依頼済であったが、関係機関施設(旧なかよし)の防火カーテンを再利用。 ②窓ガラス修繕(破損)53,000円 ③火災報知器修繕(故障)11,550円 ④図書室扉硝子修繕(ひび割れ)13,200円②から④については、10万円未満の為、仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕を行い、利用者にとってより良い環境作り及び、安全対策を行った。 ⑤窓ガラス修繕(破損)33,000円保護者保険にて対応。 ⑥図書室の扉取り換え⑥については修繕費が10万円を超えたため、多治見市により実施した。	適正(普通) 2点	・修繕箇所が発生した場合は、速やかに対応されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・業者による安全点検を実施した。 ・毎月1回職員による安全点検で危険箇所を把握し、改善できる箇所は速やかに対応した。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書目録に基づき管理した。	適正(普通) 2点	・文書目録に基づき管理されている。	10点
			②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応している。リサイクル紙、裏紙、古封筒を活用した。 ・段ボールなどリサイクル資源は、資源回収の際に処理した。 ・市役所や他の児童館等の連絡事項はメールで対応し、紙の利用を控えた。 ・冷房、暖房は適正な温度設定を掲示等で徹底し環境に配慮した。 ・ゴーヤを植栽し、緑のカーテンを作り建物内における気温上昇の抑制に取り組んだ。 ・工作材料は、リサイクルや再利用を心がけ実施した。 ・日中の時間帯には利用者にも声をかけ節電を行った。節電の掲示を実施。 ・ペットボトルのキャップを共栄児童館子どもスタッフと共同で回収活動を実施。1年間で196.5kgとなった。ポリオワクチン98人分の計算となる。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・玄関の上り口に手すりを設置、車いすの利用者も入館できるよう取り外し可能なスロープを常備している。 ・福祉体験を実施し、バリアフリーの重要性を周知した。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			④備品管理			・備品台帳に沿って適正に管理した。 ・備品を大切に扱うよう、掲示物を作り利用者に周知した。	適正(普通) 2点	・適正に管理されている。	
			⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規定」を制定し、適正に管理している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり:△1点	①骨折…小学生女兒が、一輪車運転中転倒。応急処置後保護者に連絡。病院にて骨折と診断。保険対応にて経過見守り後完治。 ②ガラス破損…中学生により遊戯室ガラス破損。迅速に周囲の安全対策を実施。怪我人はなく修繕まで安全管理を行った。 ③打撲…小学生女兒が、ドッジボール中指を打撲。応急処置。保護者より病院で受診したと報告を受け保険対応にて経過見守り後完治。 ④骨折…小学生女兒が、館庭の滑り台から落下し打撲。応急処置後保護者連絡。病院にて骨折と診断。保険対応にて経過見守り後完治。 各関係機関への事故連絡、報告書の提出を迅速に行った。	事故なし・対応に不備なし 0点	・社会福祉協議会内での事故報告は、本会の事故報告マニュアルに沿った報告書を作成、提出し、全職員に周知し情報を共有する仕組みが構築されている。また、児童館に於いての事故は代表者会議で詳細を説明し、事故防止につなげるよう規定されている。 ・安全に遊ぶ方法を周知できるよう遊び方の声掛けだけでなく、館内、館庭の遊具等に、掲示を取り付け事故防止に繋げた。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	収入13,326,434円÷支出15,750,097円≒85% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するものではないため、評価対象外とする。(令和3年度から)			

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (35点)	(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・アンケートボックスを設置し、随時意見を受け入れるとともに、クラブや行事後にアンケートを実施した。アンケート以外にも、利用者の声を聴き、事業に取り入れられるものは取り入れ、より参加者が楽しめるように配慮した。 ・新規遊具物品購入の際は、保護者、児童、生徒に希望調査を行い、実用性が高い遊具を購入した。	期待以上 13点	・耐用年数以上使用した玩具等を買替える際、慣例に従い同様の物品を買替えるのではなく、来館者に必要物品の調査を行い、より実用性の高い玩具等を購入した。一定層の意見だけを反映するのではなく、幼児、小学生、中学生等幅広い層の意見をもとに、全世代に共通する物品、各世代における特有の物品(幼児向け玩具・中学生向けスポーツ用品)等、可能な限り意見を汲み取り、物品を充実させた。 ・消毒等の手間を惜まず、玩具を自由提供し利用しやすい環境作りを行った。	13点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	・苦情なし	期待以上・苦情なし 5点	・社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設定し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設け対応している。	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	①学校、地域、市の相談員、保健センター等へ適宜協力を依頼し、地域全体での見守りと子育て支援を行った。中学校の教員とは毎月1回以上意見交換を行った。 ②定期的な体力チャレンジ番付、体力測定を行い、体力増進に繋がる取り組みを行った。 ③子育て支援の事業や研修会、会議を行った。 (たじみ健康ハッピープラン子重トレーニング研修、AED研修、救急応急処置研修動画にて) ④子ども達が企画、準備、運営を行う行事を実施した。 ⑤来館児童とともに、館庭の整備・周辺地域の清掃を行った。 ⑥社会福祉協議会の特性を活かした事業を実施した。 ⑦地域住民の才能を活用し、様々な事業を実施した。(コンサート等) ⑧児童館相互の連携事業として、市内の親子が参加できる合同事業を実施した。(健康体験パーク参加、5館ポスタークイズ交流、多治見こどもフェスタ参加)	期待以上 13点	・児童センターでの子どもの様子など学校と情報を共有し、支援が必要な児童、生徒に対しての対応方法を統一した。 また、クラブに所属できない中学生の要望から夏休み中に水遊び大会を開いた。中学生が自主的に企画進行し、思いっきり楽しみながら小学生との交流も大切に行い、ボランティア精神を育む場として役割を担うと同時に、夏休みの思い出作りになったと満足度が向上した。 ・体力の維持向上を目的に行っているチャレンジ番付・体力測定は、挑戦時に参加者の挑戦意欲を高め、参加児童の増加に繋がった。 ・運動能力向上に積極的に取り組み、乳幼児親子では、産後ケア推奨のバランスボール、ストレッチ、親子ダンスなどを毎月行い、継続参加に繋がった。 ・館庭の除草作業や通学路のごみ拾いなど、来館児童らとともに実施した。 ・福祉体験を通して、車いす体験や福祉車両に乗車など、児童が貴重な経験をすることができた。 ・ガサガサ探検では、土岐川観察館と連携を図り、多治見市の自然や、生物を知る活動を行った。 ・地域住民、子育て中の保護者サークルの活躍の場の提供を通して、家族で参加できる季節のコンサートなど様々な行事を行った。	13点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	・適正に実施されている。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・適正に実施されている。	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					89点	
									全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・乳幼児・児童とも更に前年度以上の取組みができ、みらい子育てクラブや地元の小中学校や地域組織とも連携を密にし、活発な活動ができた。		極めて良好